

開催年月日 令和6年3月7日(木)  
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員  
 答弁者 保健福祉部長 道場 満

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p><b>五 防災対策等について</b>  <b>(二) 福祉避難所、指定福祉避難所の現状等について</b></p> <p>障害や病気、妊産婦、高齢者など、配慮を要する住民の避難の改善が急を要する課題です。福祉避難所への避難方法及び備蓄、避難生活の改善はもとより、直接ケアのできる指定福祉避難所への避難の拡充が必要と考えます。道内の福祉避難所、指定福祉避難所の現状を伺うとともに、今後どのように拡充に向けて取り組んでいくのか伺います。</p>	<p><b>【保健福祉部長】</b></p> <p>福祉避難所の現状等についてでございますが、道では、現在、1200 か所を超える福祉避難所を確保しており、このうち、円滑な避難を目的に受入対象を特定している指定福祉避難所は 500 か所を超える状況となっておりますが、今般の能登半島地震では、建物の損壊等により、開設が困難となった事例もあったことを鑑みると、福祉避難所確保に向けた市町村への働きかけや、被災地で障がいがあるなど配慮が必要な方々のケアに当たる人材の確保に、不断に取り組んでいくことが重要でございます。</p> <p>このため、先月末に、市町村向けの研修会を開催し、避難に支援を要する方の個別避難計画作成に係る事例紹介や改めて、指定福祉避難所のより多くの指定、近隣市町村と連携した福祉避難所の広域的確保の重要性等を周知したところでございます。</p> <p>また、道と福祉関係法人との間で協定を締結し、避難所において要配慮者の支援に協力頂ける介護職員等の確保を進めているところであり、今後とも、こうした研修会の開催や協定に基づく災害時の介護職員等の広域派遣など、市町村と連携しながら、要配慮者の安全な避難生活に向けた取組を進めてまいります。</p>